

# 大學婦人協會報

本協会は女子の大学卒業者を結合し、以て女子教育の向上に寄与し、国際生活改善を計り、協力して国際理解と親善を計すことを目的とする

1 本協会の事業を進行し、女子の大学教育を推進し、研究助成のため奨学金に關する事業

2 その他本協会の目的達成のため必要なる事業

東京都渋谷区千駄ヶ谷  
津田英語会 講内

編者 大學婦人協会  
発行人 鈴木布美

昭和廿八年十二月二十日  
(十三号)

## 新春のもたらすもの

会長 野見山不二

新春のおよごびを申し上げます。年頭にあたり、各々皆様の御多幸を祈り、かつ、本協会のことしは、成長を心から祈念いたします。さて、私たちのJAUWもここに八年目の新春を迎えようとなり、また、その間に七ヶ年間の成長のたぐひを心あわせつつ、来たるべき年、また現代が必要とするべき協力と協力の精神に、ふかきよこびと感謝をもち、はげしく、心こめて努力をします。これからの八十年間は、私共のJAUWが、小ざく未来は永久大きい、切望されます。

女子高等教育発展の問題は、かく根深く日本の政治経済、人口問題、また職業分野の問題等に關連をもつて、また、日本再軍備の特に本年度としては、日本再軍備の問題に直接間接に重大な影響を及ぼすものと思われ、切望されます。

## 国内奨学金授與式予告

日時 昭和廿九年一月十五日(成人の日)午後二時  
場所 東京都文京区高田豊川町  
日本女子大学泉山館  
(国電目白よりバスにて女子大学前下車又は都電龍国寺下車)

米國より新帰朝のAAUW奨学生のお話を伺う豫定です。  
皆様多数御列席下さいませ。

## 企画委員会

委員 鈴木布美  
委員 山崎光子  
委員 立 文子  
委員 祝 道子  
委員 堀内照子

十月廿四日、日本女子大学泉山館で奨学金のための会とパザールを開催した。会員からの厚意ある出品多数あり、また日本女子大学の雨天下のお手伝い、折返し、あつて成果を得た。

## 基準委員会

委員長 道喜美代  
委員 徳山敬子  
委員 小川静子  
委員 天達文子  
委員 近藤いね子  
委員 辻 吉子

第一回委員会(十月十九日午後三時) 於日本女子大学  
出席者 道、徳山、小川、辻、天達、近藤、辻  
第二回委員会(十一月三十日午後四時) 於日本女子大学  
出席者 道、徳山、小川、近藤(代理)

## 奨学第二部委員会

委員長 野見山不二  
委員 小川 文代  
委員 村井 孝子  
委員 門野まり子  
委員 田中 照子  
委員 伊吹 知勢  
委員 仙台支部 伊吹 静枝  
委員 神奈川支部 松本喜英子  
委員 神戸支部 實生 すぎ

## 国際委員会

委員長 山崎光子  
委員 片山登代子  
委員 守屋百合子  
委員 近藤かつ代  
委員 中島嘉恵子

## 奨学第一部委員会

委員長 北村 孝  
委員 中野静子  
委員 上田柳子  
委員 林 雅子

「機械化時代に於ける人間的價値について」  
IFUW-国際大学婦人連盟總會報告より

国際大学婦人連盟の十一月回總會は一九五三年八月六日から十三日迄ロンドンで開かれた。この總會には連盟三十一ヶ國のうち二十八ヶ國の婦人代表があつた。その中にはシナム、インド、アイスランド、イスラエル等の東洋諸國からの代表も出席した。總會協定の主題は「機械化時代に於ける人間的價値」というにあつた。

更に戦争によつて避難民となつた難民、オーストリア等の女子大學生に教育基金を準備され、また新しくつくつた国際奨学金が増加した。

国際連合の理想と仕事を支持することが重要決議の一つとなつた。特に今回の總會では東洋と南アメリカに於ける各地に大學婦人協会の設置をうながし、その活動を支持するため近く国際大學婦人連盟太平洋地域總會を開催することを企図した。

委員長 村井孝子  
委員 大原恭子  
委員 藤原満江  
委員 一又民子  
委員 大塚野百合

優雅に遊い、「浦島」の本格的日本舞踊を上演して下さった。お客様の手色紙が渡されて、冬の日がとどろく、物置りほつきなかつた。山口玉緑様、花柳秀穂様、本会のため全部御奉仕頂いたのは、申訳なきが、うれし、誠にありがたかつた。なほ日本側出席者は大橋日本女子大学長、田中長官夫人、山崎(光)前委員長、吉田博士、野見山会長、氏家、門野、高松、全副支部長、守屋、中嶋、片山、山崎、各國際部委員であつた。(山崎記)

支部だより

愛知支部

棚橋 波木

当支部恒例により本年は八・九の二ヶ月愛知県下百三十五ヶ所、会員有志三十八名の方々が奉仕の講演行脚をなさいました十一月三日文化の日には、優良婦人会として名古屋教育委員会より表彰されまし

表 彰 状
大学婦人協会愛知支部
右は社会教育関係団体としてその運営が極めて適切であるので文化の日

東京支部

田中 照子

本年五月前支部長より引継ぎを致しまして、毎月何かと会員各層の方々に夫々よろこんでお集り頂ける会合を心掛けて参りました。左にその模様を、お伝えいたします。

十一月
ペンクラブ世界大会より
歸朝の米川正夫氏のソノエト旅行の文学談を聞く

十二月は二回に亘つて、会員加藤照子女士の白金料理でクリスマス、お正月向お料理の講習会を予定して居ります。

六月
国会図書館に於て、本支部の為の源氏物語に関する特別展示会を見学、其の後岡一男博士を囲んで紫式部に関する座談会。

七月
アメリカ大学婦人クラブと共催で、ストラウス夫人(オハロ回運連總會米国政府代表)を囲むお茶の会。(ユニオンクラブにて)

八月
法務局人権擁護部と共催

九月

北海道開拓は困難を極めた。開拓が漸く具体化したのは、札幌に開拓使が置かれ、ホルネス、ケイプラン(Horace Capron)を長官とする米國農業使節が招かれ、アトバイザとして、共に北海道経営に当たつて以後、即ち明治維新以後(一八六八年)のことである。

一九五二年度奨學學生研究報告

北海道開拓と女性

北海道大学 富永千代子

この開発は新政府によつて急務であつた。経営政策は先づ移民政策に集注された。衣、食、住の点に於いては相当寛大な政策が取られたに拘らず、僅かに米道する移民の大部分は、新天地に理想を求めた者といふよりは、故國を追はれた貧窮者であり、建設的な開拓者ではなく、寧ろ、無軌道な早急に百姓根性を持つたもの達であつた。経済、気候、風土、移民の質、政策、これ等の矛盾、圧懸に



東京支部例会 (二八年六月二七日) 国会図書館 エジプトの間に於て

静岡支部

老人ホームを訪ねて

松村 菊代

十一月の例会の時老人ホームを訪ねる相談がまるとり、クリスマスより早い方がいじょうと、去る五日に行つて参りました。母の日のカードによる利益金とJAUWの便箋、封筒の利益金をお菓子に替えて見学をかねて慰問して参りました。

十一月の例会の時老人ホームを訪ねる相談がまるとり、クリスマスより早い方がいじょうと、去る五日に行つて参りました。母の日のカードによる利益金とJAUWの便箋、封筒の利益金をお菓子に替えて見学をかねて慰問して参りました。

福岡支部

徳永 喜久子

福岡支部より先づオ一に申上げたい事は、過ぐる夏、当地方の水害に際しまして、皆様方より格別の御同情を賜わり、ことに、東京オ二部奨學生の当地よりゾク／＼と出て下さる様、願つた次第です。

戦後の鉄筋コンクリートアパートの台所洗濯場の調査について
日本女子大学住居研究室 武田ます

戦後の鉄筋コンクリートアパートの台所洗濯場の調査について
日本女子大学住居研究室 武田ます

学校教育委員会
委員長 藤川富士子
委員 松村 緑
真柄 美子
高橋 憲子
坂 宏子
馬越 宮

委員長 藤川富士子
委員 松村 緑
真柄 美子
高橋 憲子
坂 宏子
馬越 宮

委員長 藤川富士子
委員 松村 緑
真柄 美子
高橋 憲子
坂 宏子
馬越 宮

委員長 藤川富士子
委員 松村 緑
真柄 美子
高橋 憲子
坂 宏子
馬越 宮